

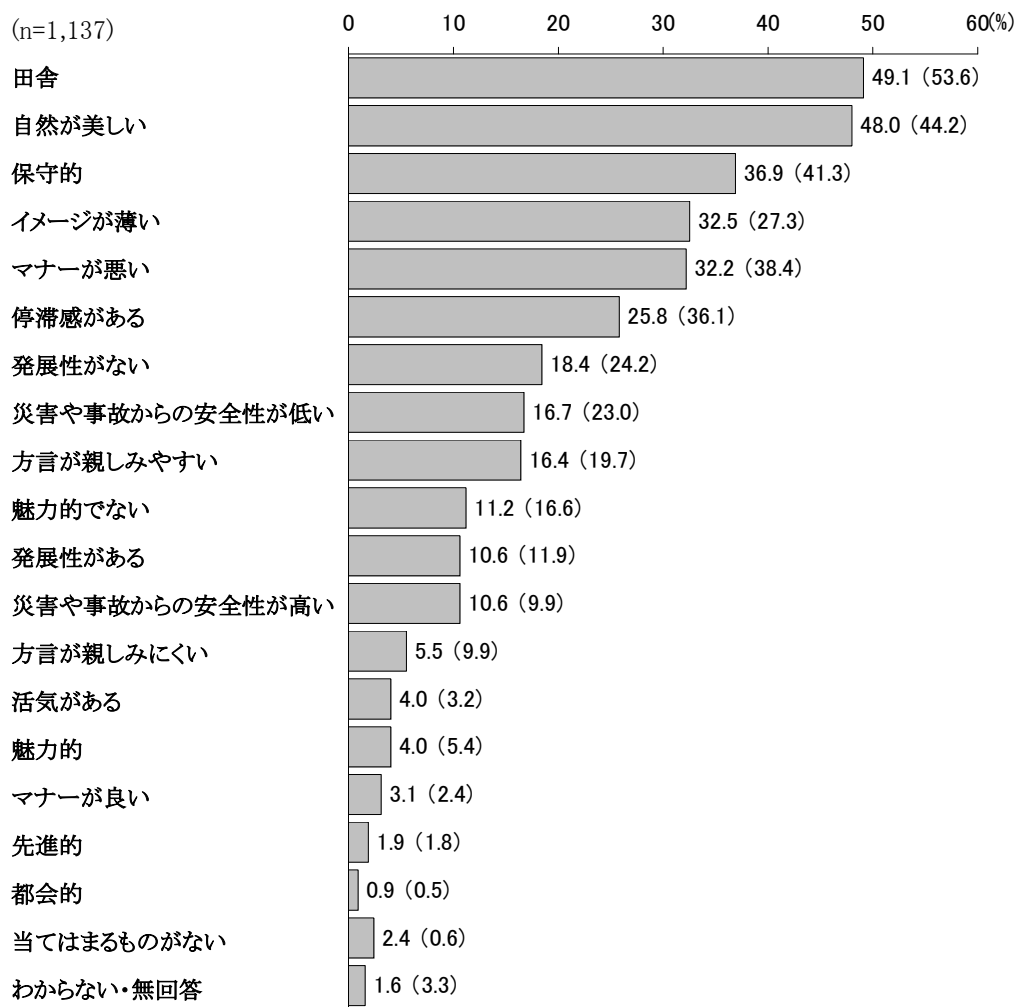
Ⅱ 茨城県民の郷土愛

1. 茨城県に対するイメージ

(1) 茨城県のイメージ

—「田舎」と「自然が美しい」が約5割—

問3 あなたは、茨城県に対して、どのようなイメージを持っていますか。また、茨城県の資源に対してどのようなイメージを持っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成23年の調査結果

茨城県のイメージとしては、「田舎」(49.1%)と「自然が美しい」(48.0%)が約5割で高くなっている。次いで、「保守的」(36.9%)、「イメージが薄い」(32.5%)、「マナーが悪い」(32.2%)と続いている。

前回調査と比べると、「イメージが薄い」が約5ポイント増加している。一方、「停滞感がある」が約10ポイント、「災害や事故からの安全性が低い」、「マナーが悪い」、「発展性がない」が約6ポイント減少している。

—「田舎」は、女性の20代で7割台半ば—

地域別でみると、「田舎」は、鹿行（53.8%）と県西（56.3%）で5割台半ばと高く、県南（50.1%）で約5割となっている。「自然が美しい」は、県央（54.4%）で5割台半ばと最も高く、ここでも県南（50.9%）は約5割となっている。また、「自然が美しい」、「保守的」、「発展性がない」は鹿行で最も低く、「イメージが薄い」、「マナーが悪い」、「停滞感がある」は県西で最も低くなっている。

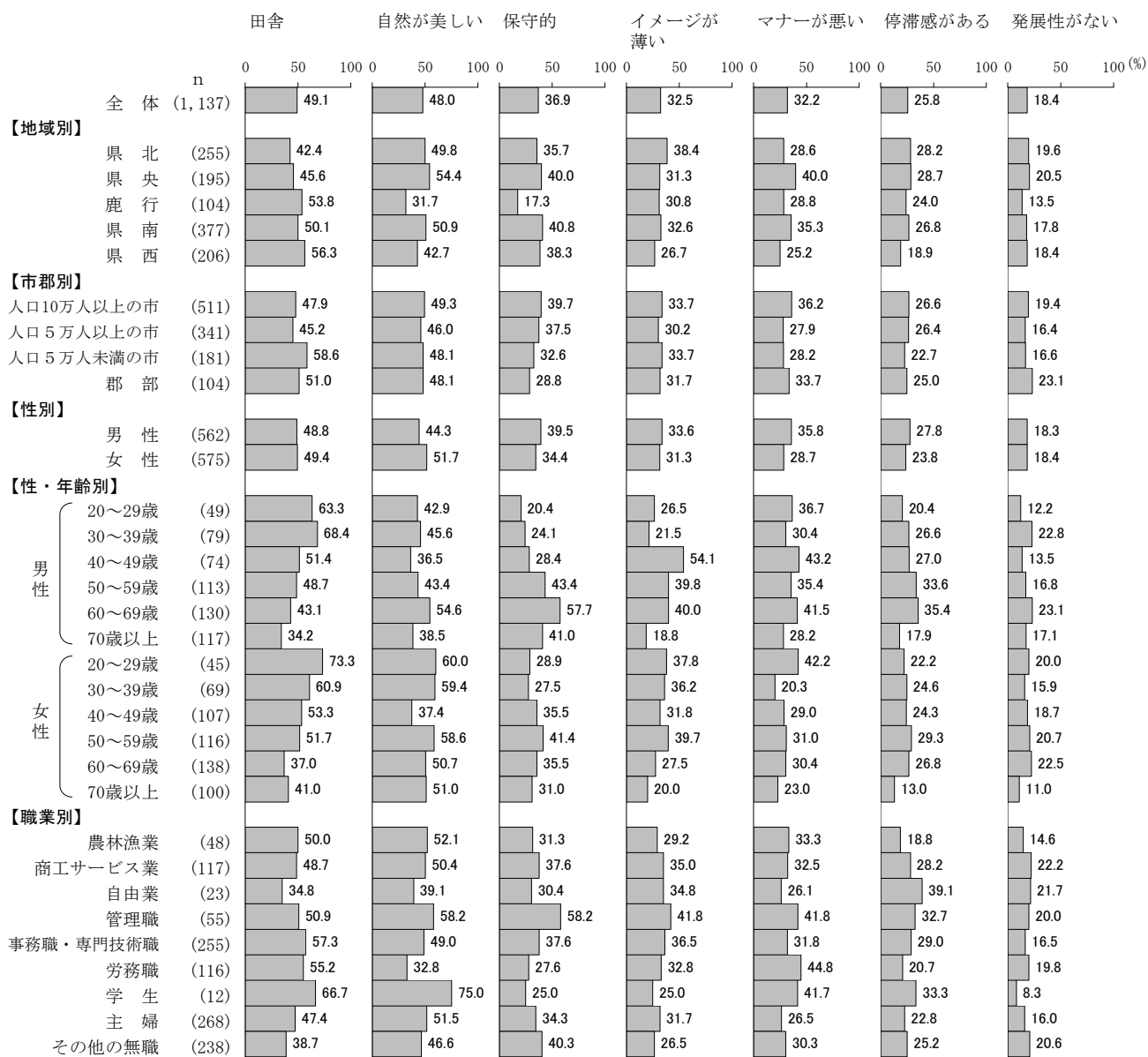
市郡別でみると、「田舎」は、人口5万人未満の市（58.6%）で約6割と最も高く、郡部（51.0%）で5割を超えている。「自然が美しい」は、すべての層で4割台後半となっている。また、「保守的」は、人口10万人以上の市（39.7%）と人口5万人以上の市（37.5%）で約4割と高く、人口が少なくなるほど低くなっている。

性別でみると、「マナーが悪い」は、男性（35.8%）が女性（28.7%）よりも約7ポイント高くなっている。「保守的」は、男性（39.5%）が女性（34.4%）よりも約5ポイント、「停滞感がある」は、男性（27.8%）が女性（23.8%）よりも4ポイント高くなっている。一方、「自然が美しい」は、女性（51.7%）が男性（44.3%）よりも約7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「田舎」は、女性の20代（73.3%）で7割台半ばと最も高く、男性の30代（68.4%）で約7割となっている。「自然が美しい」でも、女性の20代（60.0%）は6割で最も高く、女性の30代（59.4%）と女性の50代（58.6%）で約6割となっている。また、「保守的」は男性の60代（57.7%）で約6割、「イメージが薄い」は男性の40代（54.1%）で5割台半ばと高くなっている。

職業別でみると、「田舎」は、事務職・専門技術職（57.3%）で約6割、労務職（55.2%）で5割台半ばとなっている。「自然が美しい」と「保守的」は、管理職（ともに58.2%）で約6割と高くなっている。

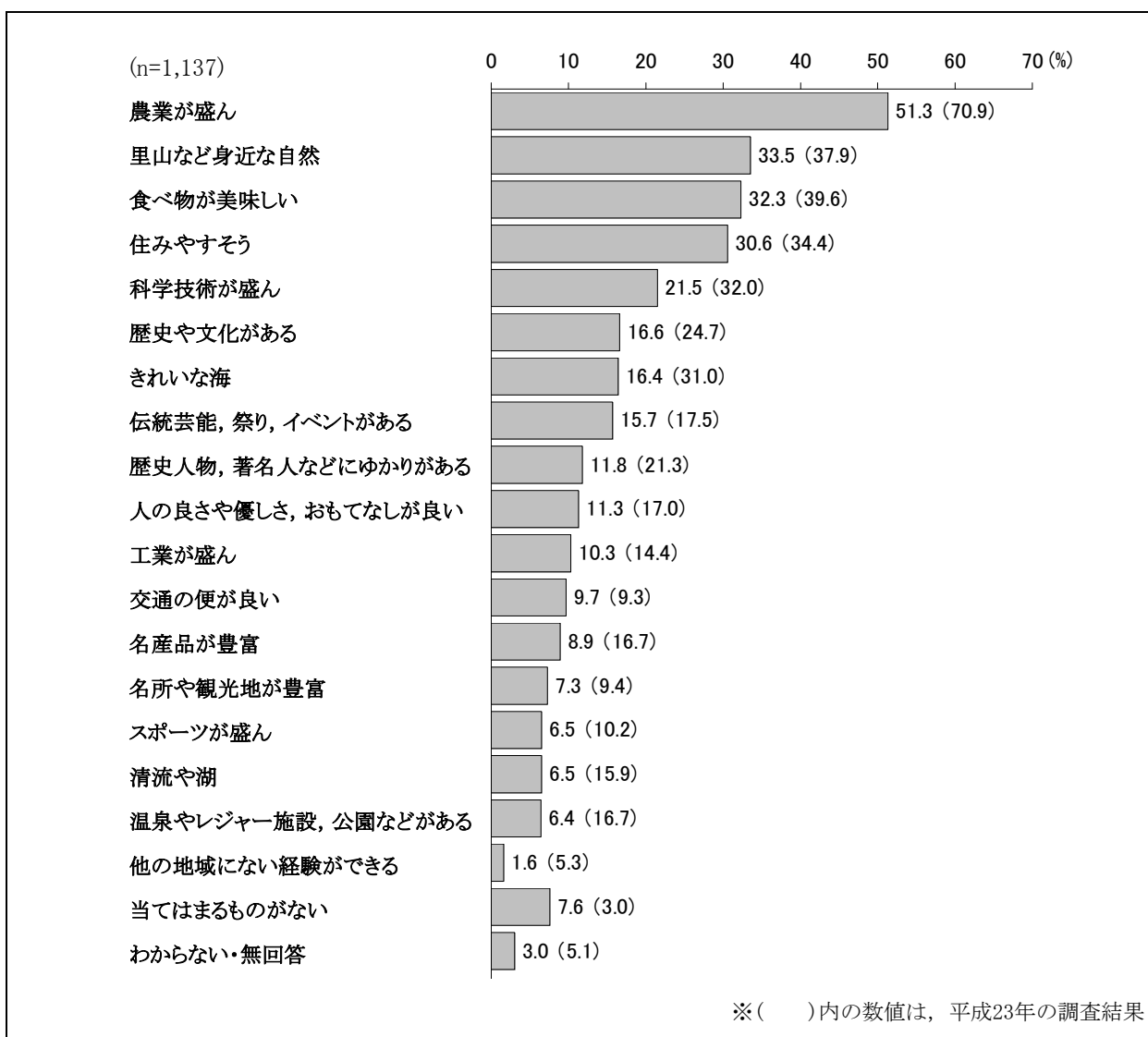
図Ⅱ 3-1 茨城県のイメージ（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別—上位7項目）



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(2) 茨城県の資源に対するイメージ

—「農業が盛ん」が5割を超える—



茨城県の資源に対するイメージとしては、「農業が盛ん」(51.3%)が5割を超えて最も高く、次いで「里山など身近な自然」(33.5%)が3割台半ば、「食べ物が美味しい」(32.3%)と「住みやすそう」(30.6%)も3割台で続いている。

前回調査と比べると、「農業が盛ん」が約20ポイント、「きれいな海」が約15ポイント、「科学技術が盛ん」が約11ポイント、「歴史人物、著名人などにゆかりがある」と「温泉やレジャー施設、公園などがある」が約10ポイント減少している。一方、「当てはまるものがない」が約5ポイント増加している。

—「農業が盛ん」は男性の50代で6割を超えて最も高い。管理職では約7割—

地域別でみると、「農業が盛ん」は、県央（55.4%）と県南（56.2%）で5割台半ばと高くなっている。「里山など身近な自然」は、県北（42.0%）と県央（42.6%）で4割を超えている。また、「食べ物が美味しい」、「住みやすそう」、「歴史や文化がある」、「きれいな海」は、いずれも県央で最も高くなっている。

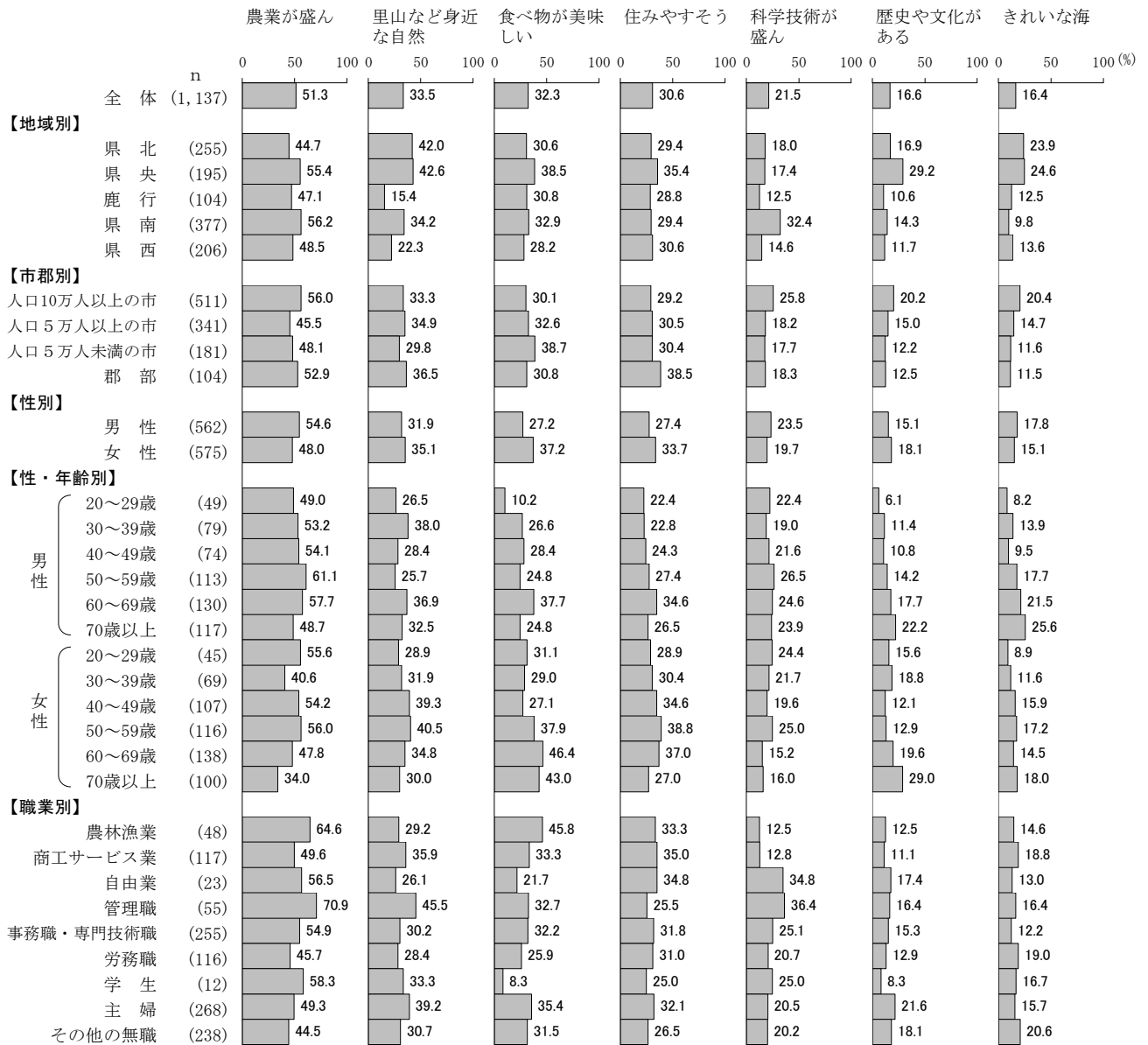
市郡別でみると、「農業が盛ん」は、人口10万人以上の市（56.0%）で5割台半ばと最も高く、郡部（52.9%）で5割を超えている。「里山など身近な自然」は、人口5万人未満の市（29.8%）以外のすべての層で3割台となっているが、「食べ物が美味しい」では人口5万人未満の市（38.7%）で約4割と最も高くなっている。「住みやすそう」は、郡部（38.5%）で約4割と最も高く、「科学技術が盛ん」、「歴史や文化がある」、「きれいな海」は、いずれも人口10万人以上の市で最も高くなっている。

性別でみると、「農業が盛ん」は、男性（54.6%）が女性（48.0%）よりも約7ポイント高くなっている。一方、「食べ物が美味しい」は、女性（37.2%）が男性（27.2%）よりも10ポイント、「住みやすそう」でも、女性（33.7%）が男性（27.4%）よりも約6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「農業が盛ん」は、男性では50代（61.1%）で6割を超えて最も高く、60代（57.7%）で約6割となっている。女性では20代（55.6%）、40代（54.2%）、50代（56.0%）で5割台半ばと高くなっている。「里山など身近な自然」は男性の30代（38.0%）、女性の40代（39.3%）と50代（40.5%）で約4割、「食べ物が美味しい」は女性の60代（46.4%）と70歳以上（43.0%）で4割台半ばと高くなっている。

職業別でみると、「農業が盛ん」は、管理職（70.9%）で約7割と最も高く、農林漁業（64.6%）で6割台半ばとなっている。また、「里山など身近な自然」と「科学技術が盛ん」でも管理職が、「食べ物が美味しい」で農林漁業が、それぞれ最も高くなっている。

図Ⅱ 3-2 茨城県の資源に対するイメージ
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)

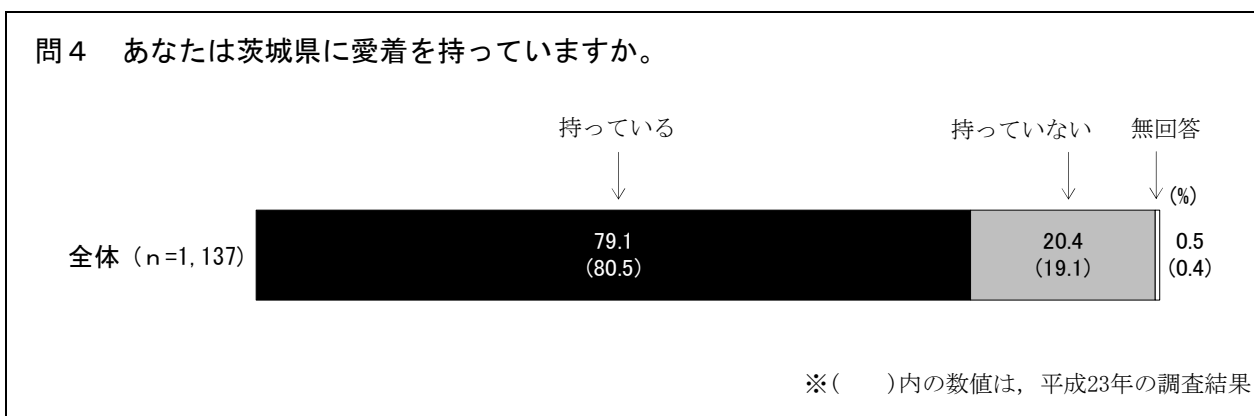


(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

2. 茨城県に対する愛着

(1) 茨城県に対する愛着の有無

—愛着を「持っている」が約8割—



茨城県に対して、愛着を「持っている」(79.1%)が約8割を占めている。一方、「持っていない」(20.4%)は約2割となっている。

前回調査と比べると、特に大きな差はみられない。

—「持っている」は男性の60代と女性の20代で8割台半ば—

地域別でみると、「持っている」は、県央(84.6%)で8割台半ばと最も高く、鹿行(81.7%)で8割を超えている。

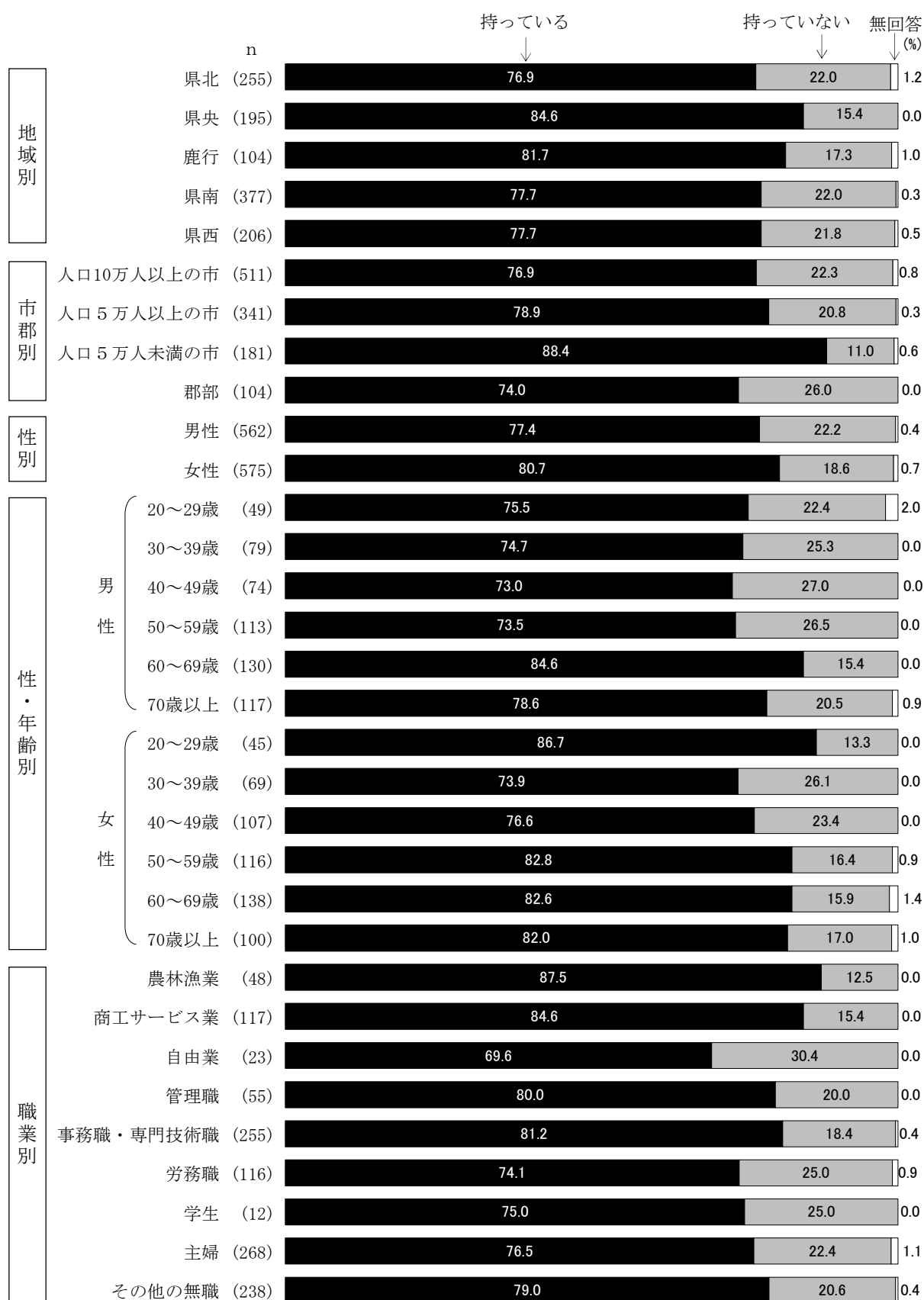
市郡別でみると、「持っている」は、人口5万人未満の市(88.4%)で約9割と最も高くなっている。

性別でみると、「持っている」は、女性(80.7%)が男性(77.4%)よりも約3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「持っている」は、男性の60代(84.6%)と女性の20代(86.7%)で8割台半ばと高くなっている。また、女性では50代(82.8%)、60代(82.6%)、70歳以上(82.0%)で8割を超えている。

職業別でみると、農林漁業(87.5%)で約9割と最も高く、商工サービス業(84.6%)で8割台半ばとなっている。

図Ⅱ 4-1 茨城県に対する愛着の有無
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



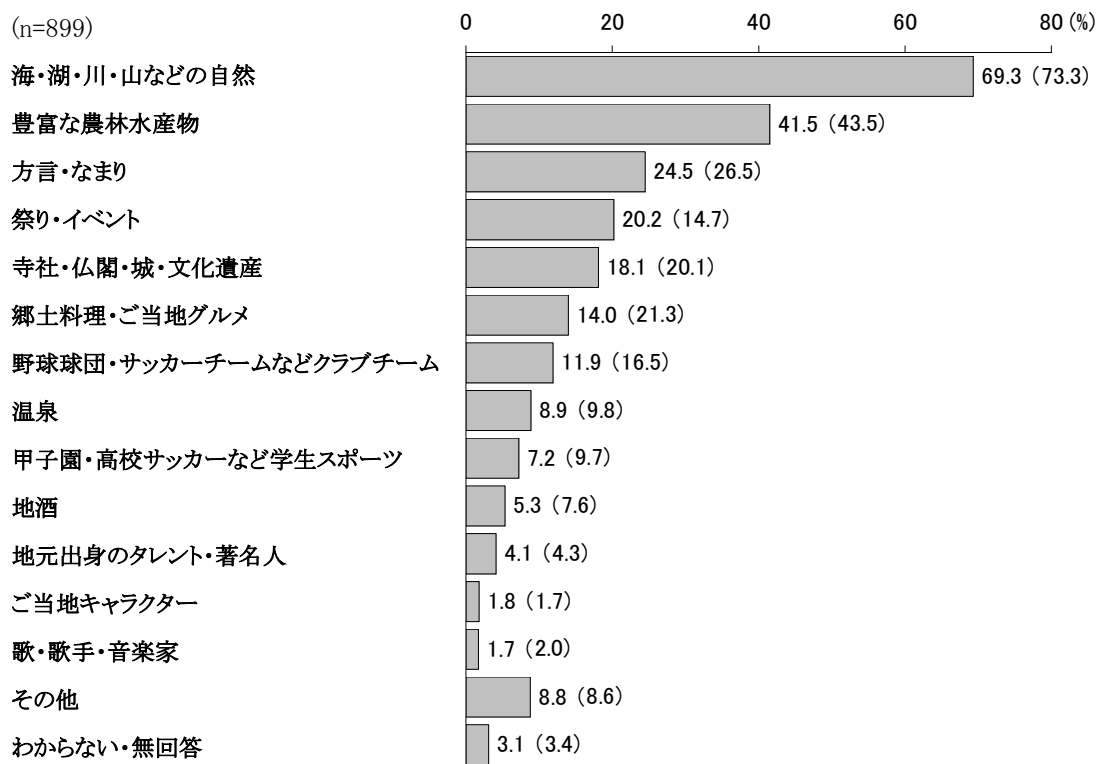
(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(2) 茨城県に愛着を感じるどころ

—「海・湖・川・山などの自然」が約7割—

(問4で「1. 持っている」と回答した方のみ)

問4-1 あなたは、茨城県のどのようなところに愛着を感じますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成23年の調査結果

茨城県に愛着を「持っている」と回答した方に、愛着を感じるどころを聞いたところ、「海・湖・川・山などの自然」(69.3%)が約7割と最も高く、次いで「豊富な農林水産物」(41.5%)が4割を超えている。「方言・なまり」(24.5%)と「祭り・イベント」(20.2%)が2割台で続いている。

前回調査と比べると、「祭り・イベント」が約6ポイント増加している。一方、「郷土料理・ご当地グルメ」が約7ポイント、「野球球団・サッカーチームなどクラブチーム」が約5ポイント、「海・湖・川・山などの自然」が4ポイント減少している。

—「海・湖・川・山などの自然」は県北で約8割—

地域別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、県北（80.1%）で約8割と最も高くなっている。「豊富な農林水産物」は、鹿行（22.4%）以外のすべての地域で4割台となっている。「祭り・イベント」、「寺社・仏閣・城・文化遺産」、「郷土料理・ご当地グルメ」でも鹿行は最も低くなっているが、「方言・なまり」と「野球球団・サッカーチームなどクラブチーム」は、鹿行で最も高くなっている。

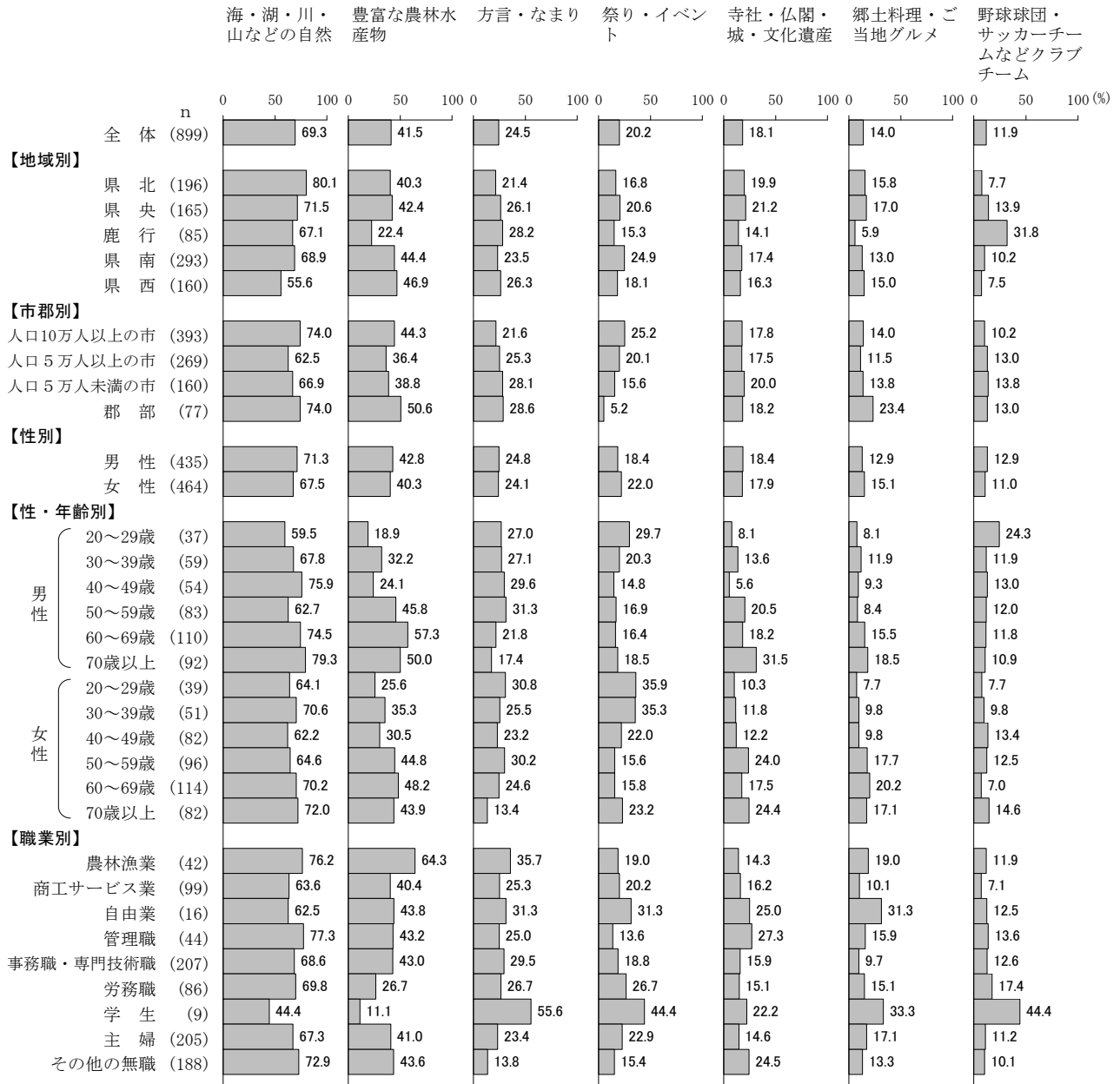
市郡別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、人口10万人以上の市（74.0%）と郡部（74.0%）で7割台半ばと高く、これらの層は「豊富な農林水産物」でも高くなっている。また、「方言・なまり」は人口が少なくなるほど高くなり、「祭り・イベント」は人口が少なくなるほど低くなっている。

性別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、男性（71.3%）が女性（67.5%）よりも約4ポイント高く、「豊富な農林水産物」は、男性（42.8%）が女性（40.3%）よりも約3ポイント高くなっている。一方、「祭り・イベント」は、女性（22.0%）が男性（18.4%）よりも約4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、男性では70歳以上（79.3%）で約8割と最も高く、40代（75.9%）と60代（74.5%）で7割台半ばとなっている。女性でも70歳以上（72.0%）で7割を超えて高く、30代（70.6%）と60代（70.2%）で約7割となっている。「豊富な農林水産物」は、男性の60代（57.3%）で約6割、女性の60代（48.2%）で約5割と、それぞれ60代で高く、50代と70歳以上が続いている。また、「方言・なまり」は、男性の70歳以上（17.4%）と女性の70歳以上（13.4%）で1割台と低く、「祭り・イベント」は、女性の20代（35.9%）と30代（35.3%）で3割台半ばと高くなっている。

職業別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、管理職（77.3%）と農林漁業（76.2%）で7割台後半と高く、その他の無職（72.9%）で7割を超えている。「豊富な農林水産物」は、農林漁業（64.3%）で6割台半ばと最も高く、「方言・なまり」でも農林漁業（35.7%）は3割台半ばと最も高くなっている。

図Ⅱ 4-1-1 茨城県に愛着を感じるどころ
 (地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)

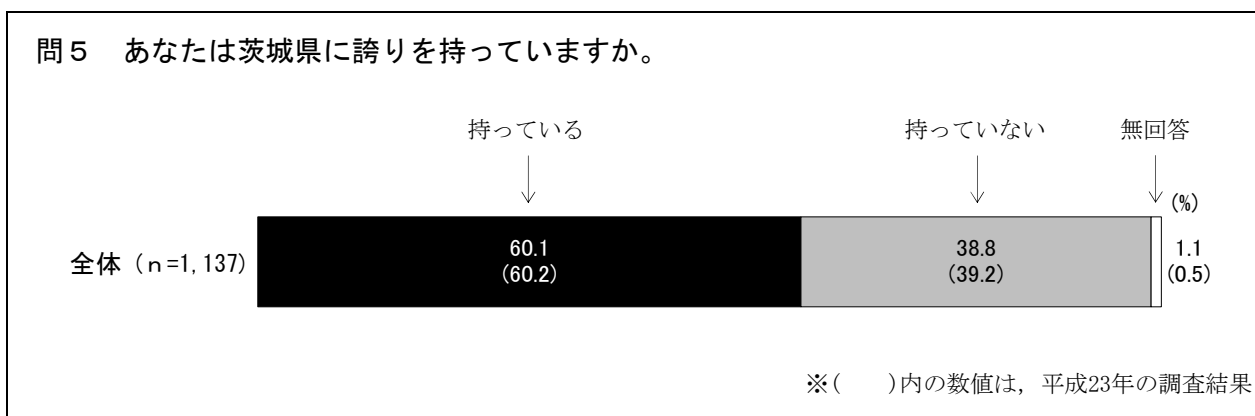


(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

3. 茨城県に対する誇り

(1) 茨城県に対する誇りの有無

—誇りを「持っている」が約6割—



茨城県に対して、誇りを「持っている」(60.1%)が約6割となっている。一方、「持っていない」(38.8%)は約4割となっている。

前回調査と比べると、特に大きな差はみられない。

—「持っている」は女性の70歳以上で7割台半ば—

地域別でみると、「持っている」は、県央(65.6%)で6割台半ばと最も高く、県北(60.4%)と県西(61.2%)で6割台となっている。

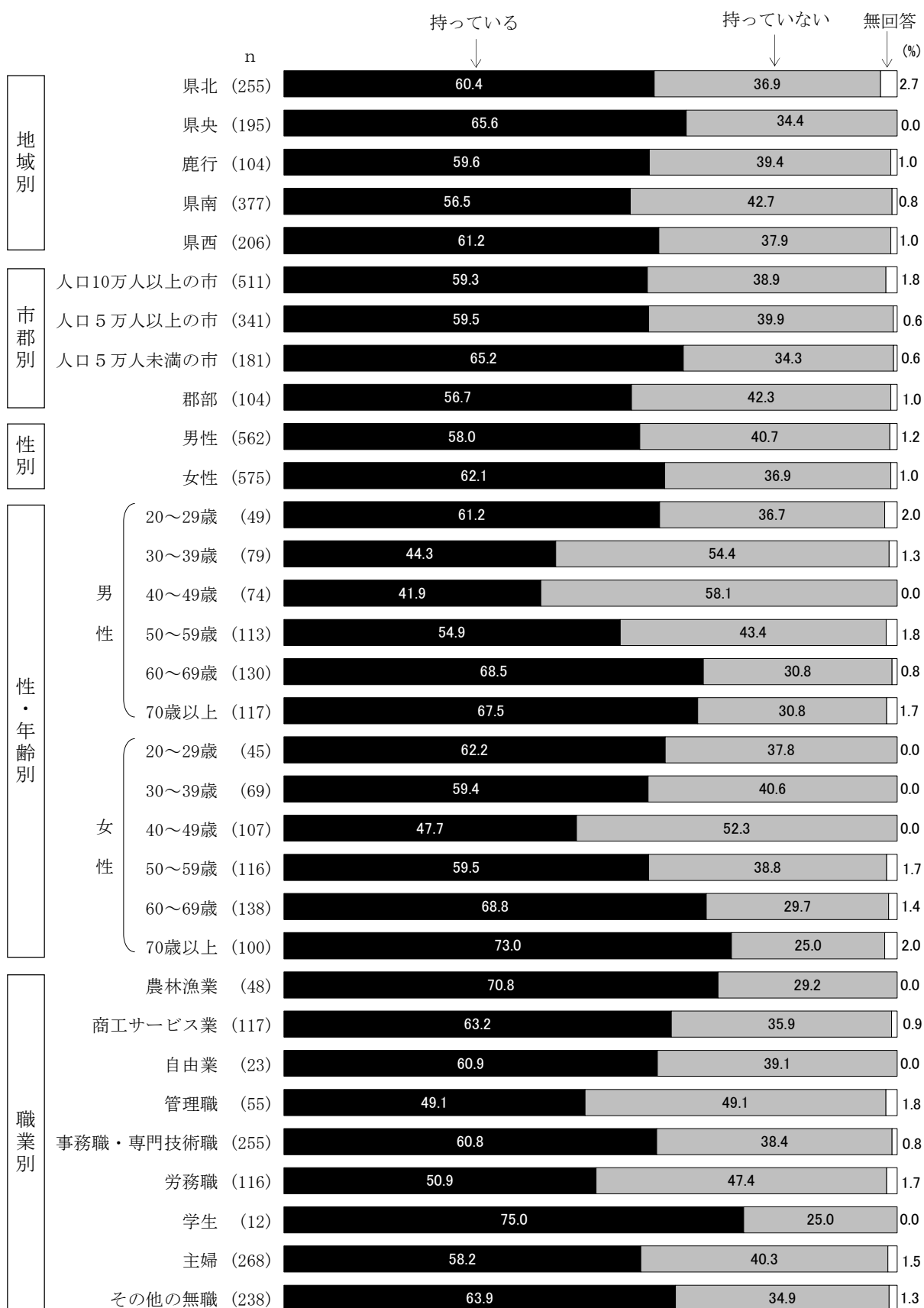
市郡別でみると、「持っている」は、人口5万人未満の市(65.2%)で6割台半ばと最も高くなっている。

性別でみると、「持っている」は、女性(62.1%)が男性(58.0%)よりも約4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「持っている」は、女性の70歳以上(73.0%)で7割台半ばと最も高く、男性の60代(68.5%)と70歳以上(67.5%)、女性の60代(68.8%)で約7割となっている。一方、「持っていない」は、男性の30代(54.4%)と40代(58.1%)、女性の40代(52.3%)で5割台と高くなっている。

職業別でみると、「持っている」は、農林漁業(70.8%)で約7割と最も高く、商工サービス業(63.2%)とその他の無職(63.9%)で6割台半ばとなっている。一方、「持っていない」は、管理職(49.1%)と労務職(47.4%)で約5割と高くなっている。

図Ⅱ 5-1 茨城県に対する誇りの有無
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



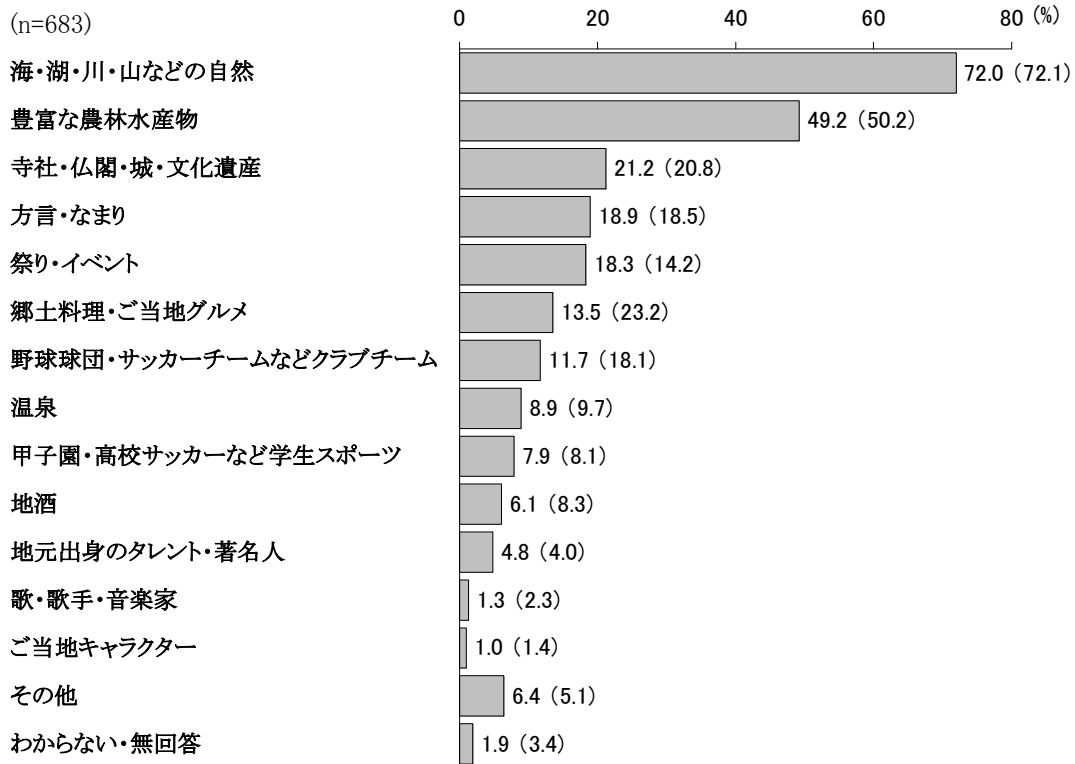
(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(2) 茨城県に誇りを感じるどころ

—「海・湖・川・山などの自然」が7割を超えている—

(問5で「1. 持っている」と回答した方のみ)

問5-1 あなたは、茨城県のどのようなところに誇りを感じますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成23年の調査結果

茨城県に誇りを「持っている」と回答した方に、誇りを感じるどころを聞いたところ、「海・湖・川・山などの自然」(72.0%)が7割を超えて最も高く、次いで「豊富な農林水産物」(49.2%)が約5割、「寺社・仏閣・城・文化遺産」(21.2%)が2割を超え、「方言・なまり」(18.9%)と「祭り・イベント」(18.3%)が約2割で続いている。

前回調査と比べると、「祭り・イベント」が約4ポイント増加している。一方、「郷土料理・ご当地グルメ」が約10ポイント、「野球球団・サッカーチームなどクラブチーム」が約6ポイント減少している。

—「海・湖・川・山などの自然」は県北で約8割—

地域別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、県北（77.9%）で約8割と最も高く、県西（60.3%）以外のすべての地域で7割台となっている。「豊富な農林水産物」は、県南（54.0%）、県西（56.3%）で5割台半ば、県央（52.3%）で5割を超えて高くなっている。また、「野球球団・サッカーチームなどクラブチーム」は、鹿行（27.4%）で約3割と最も高くなっている。

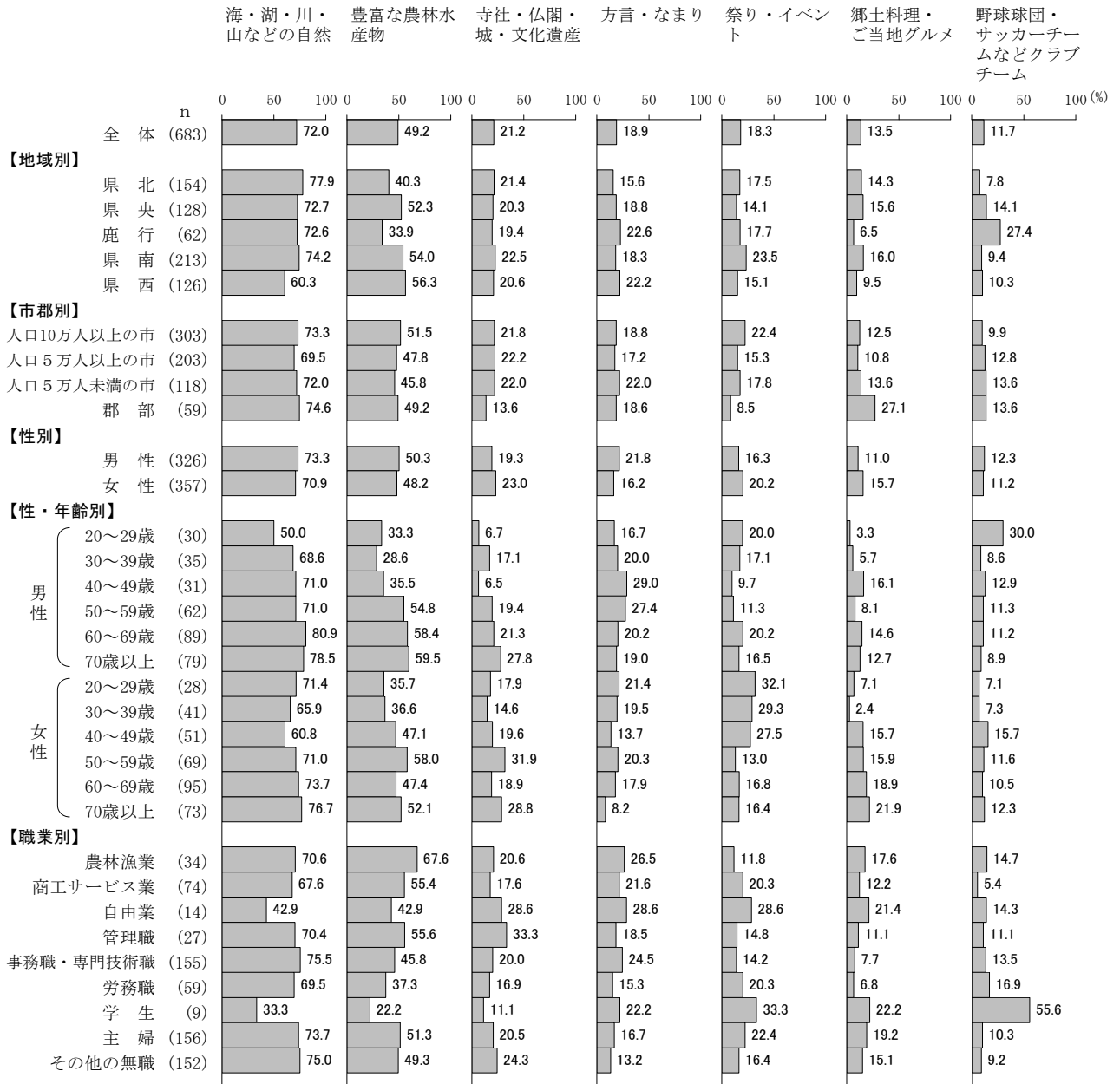
市郡別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、人口5万人以上の市（69.5%）以外のすべての層で7割台となっている。また、「豊富な農林水産物」は、人口10万人以上の市（51.5%）で5割を超えて最も高く、「郷土料理・ご当地グルメ」は、郡部（27.1%）で約3割と最も高くなっている。

性別でみると、「方言・なまり」は、男性（21.8%）が女性（16.2%）よりも約6ポイント高くなっている。一方、「郷土料理・ご当地グルメ」は、女性（15.7%）が男性（11.0%）よりも約5ポイント高くなっている。また、「祭り・イベント」は女性（20.2%）が男性（16.3%）よりも約4ポイント、「寺社・仏閣・城・文化遺産」でも、女性（23.0%）が男性（19.3%）よりも約4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、男性の60代（80.9%）と70歳以上（78.5%）で約8割と高く、女性でも60代（73.7%）と70歳以上（76.7%）で7割台半ばと高くなっている。「豊富な農林水産物」は、男性の60代（58.4%）、70歳以上（59.5%）、女性の50代（58.0%）で約6割と高く、男性の50代（54.8%）と女性の70歳以上（52.1%）も5割台となっている。また、「寺社・仏閣・城・文化遺産」は女性の50代（31.9%）で、「祭り・イベント」は女性の30代（29.3%）と40代（27.5%）で約3割、「野球球団・サッカーチームなどクラブチーム」は男性の20代（30.0%）で3割となっている。

職業別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、事務職・専門技術職（75.5%）、主婦（73.7%）、その他の無職（75.0%）で7割台半ばと高く、それ以外の職業で約7割となっている。「豊富な農林水産物」は、農林漁業（67.6%）で約7割と最も高くなっている。

図Ⅱ 5-1-1 茨城県に誇りを感じるところ
 (地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)

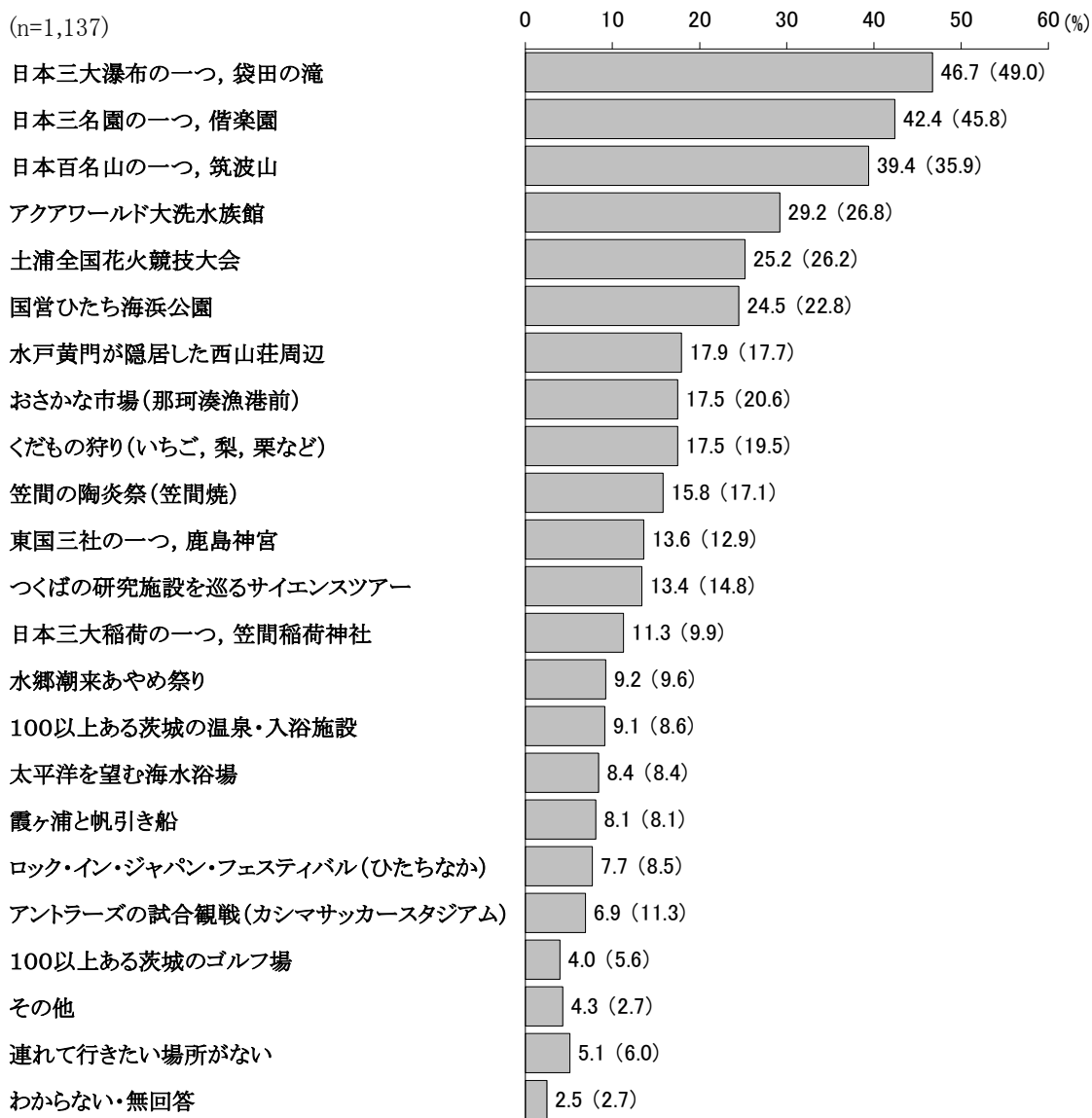


(注) 女性20～29歳, 自由業, 管理職, 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

4. 県外の友人を連れて行きたい茨城県の名所

—「日本三大瀑布の一つ、袋田の滝」が4割台半ば—

問6 あなたは、県外の友人を茨城県に誘う場合、どこに連れて行きたいですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成23年の調査結果

県外の友人を連れて行きたいところとしては、「日本三大瀑布の一つ、袋田の滝」(46.7%)が4割台半ばと最も高く、「日本三名園の一つ、偕楽園」(42.4%)が4割を超え、「日本百名山の一つ、筑波山」(39.4%)が約4割、「アクアワールド大洗水族館」(29.2%)、「土浦全国花火競技大会」(25.2%)「国営ひたち海浜公園」(24.5%)が2割台、「水戸黄門が隠居した西山荘周辺」(17.9%)が約2割で続いている。

前回調査と比べると、「日本百名山の一つ、筑波山」が約4ポイント増加している。一方、「日本三名園の一つ、偕楽園」と「おさかな市場(那珂湊漁港前)」が約3ポイント減少している。

—「日本三名園の一つ、偕楽園」は県央で7割を超えている—

地域別でみると、「日本三大瀑布の一つ、袋田の滝」は、県北（62.0%）で6割を超えて最も高く、県央（52.3%）で5割を超えている。「日本三名園の一つ、偕楽園」は、県央（72.8%）で7割を超えて最も高くなっている。また、「日本百名山の一つ、筑波山」は県南（57.8%）と県西（60.7%）で約6割と高く、「土浦全国花火競技大会」でも県南（44.0%）は4割台半ばと高くなっている。

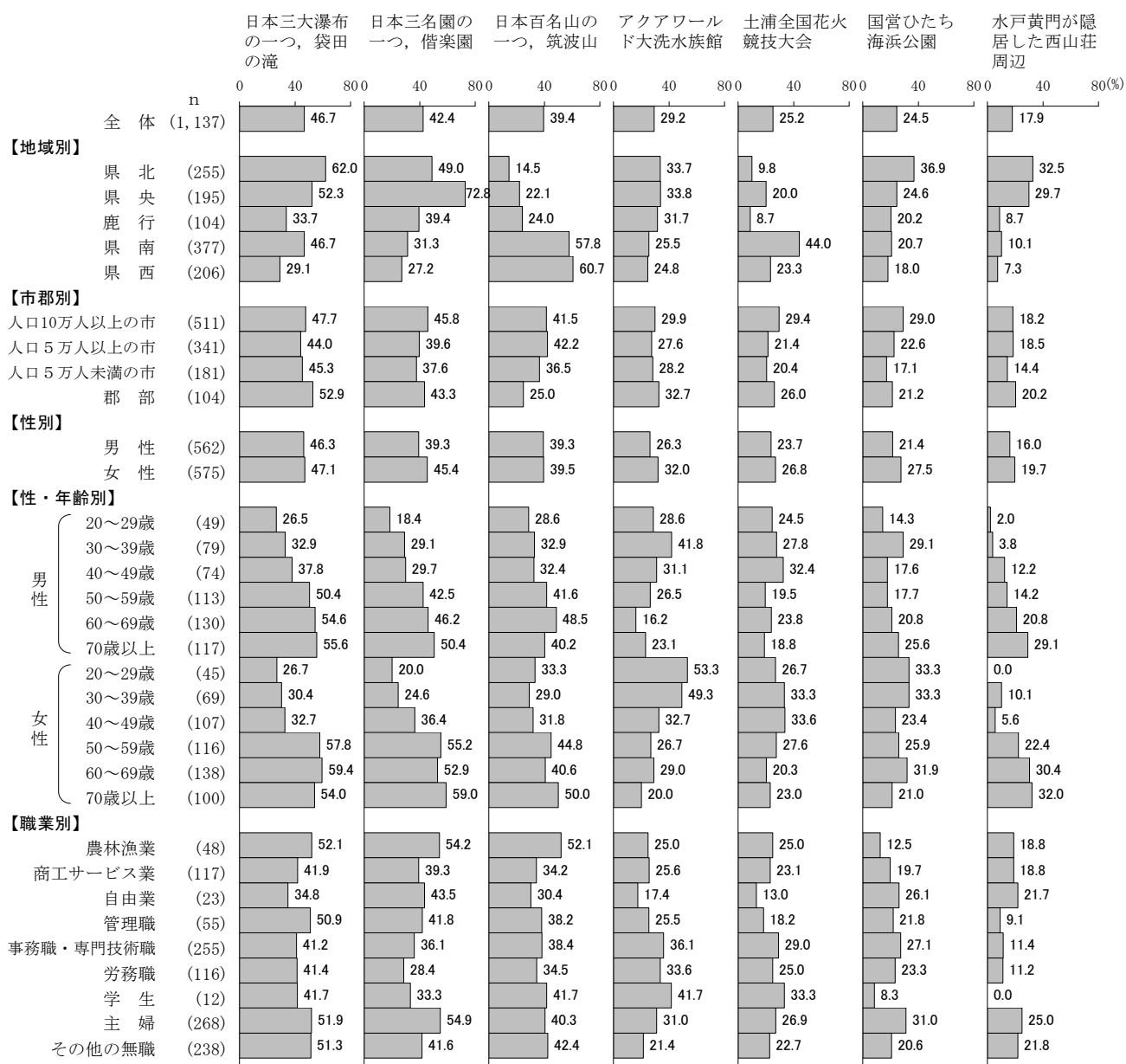
市郡別でみると、「日本三大瀑布の一つ、袋田の滝」は、郡部（52.9%）で最も高くなっている。「日本三名園の一つ、偕楽園」は、人口10万人以上の市（45.8%）と郡部（43.3%）で4割台半ばと高く、「日本百名山の一つ、筑波山」は、人口10万人以上の市（41.5%）と人口5万人以上の市（42.2%）で4割を超えている。また、「アクアワールド大洗水族館」は、郡部（32.7%）で3割を超えて最も高く、人口10万人以上の市（29.9%）で約3割となっている。このほか、「土浦全国花火競技大会」と「国営ひたち海浜公園」でも、人口10万人以上の市は約3割となっている。

性別でみると、「日本三名園の一つ、偕楽園」、「国営ひたち海浜公園」、「アクアワールド大洗水族館」は、いずれも女性が男性よりも約6ポイント高くなっている。また、「水戸黄門が隠居した西山荘周辺」は女性（19.7%）が男性（16.0%）よりも約4ポイント、「土浦全国花火競技大会」は女性（26.8%）が男性（23.7%）よりも約3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「日本三大瀑布の一つ、袋田の滝」は、女性の50代（57.8%）と60代（59.4%）で約6割と高く、男性の50代（50.4%）、60代（54.6%）、70歳以上（55.6%）、女性の70歳以上（54.0%）で5割台となっている。これらの年齢は男女ともに「日本三名園の一つ、偕楽園」でも高く、特に、女性の70歳以上（59.0%）で約6割となっており、「日本百名山の一つ、筑波山」でも女性の70歳以上（50.0%）は5割と最も高くなっている。また、「アクアワールド大洗水族館」は女性の20代（53.3%）で5割台半ばと最も高く、30代（49.3%）で約5割となっている。

職業別でみると、「日本三大瀑布の一つ、袋田の滝」は、農林漁業（52.1%）、管理職（50.9%）、主婦（51.9%）、その他の無職（51.3%）で5割台と高くなっている。「日本三名園の一つ、偕楽園」は、農林漁業（54.2%）と主婦（54.9%）で5割台半ばと高く、「日本百名山の一つ、筑波山」でも農林漁業（52.1%）は5割を超えて高くなっている。

図Ⅱ 6-1 県外の友人を連れて行きたい茨城県の名所
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)

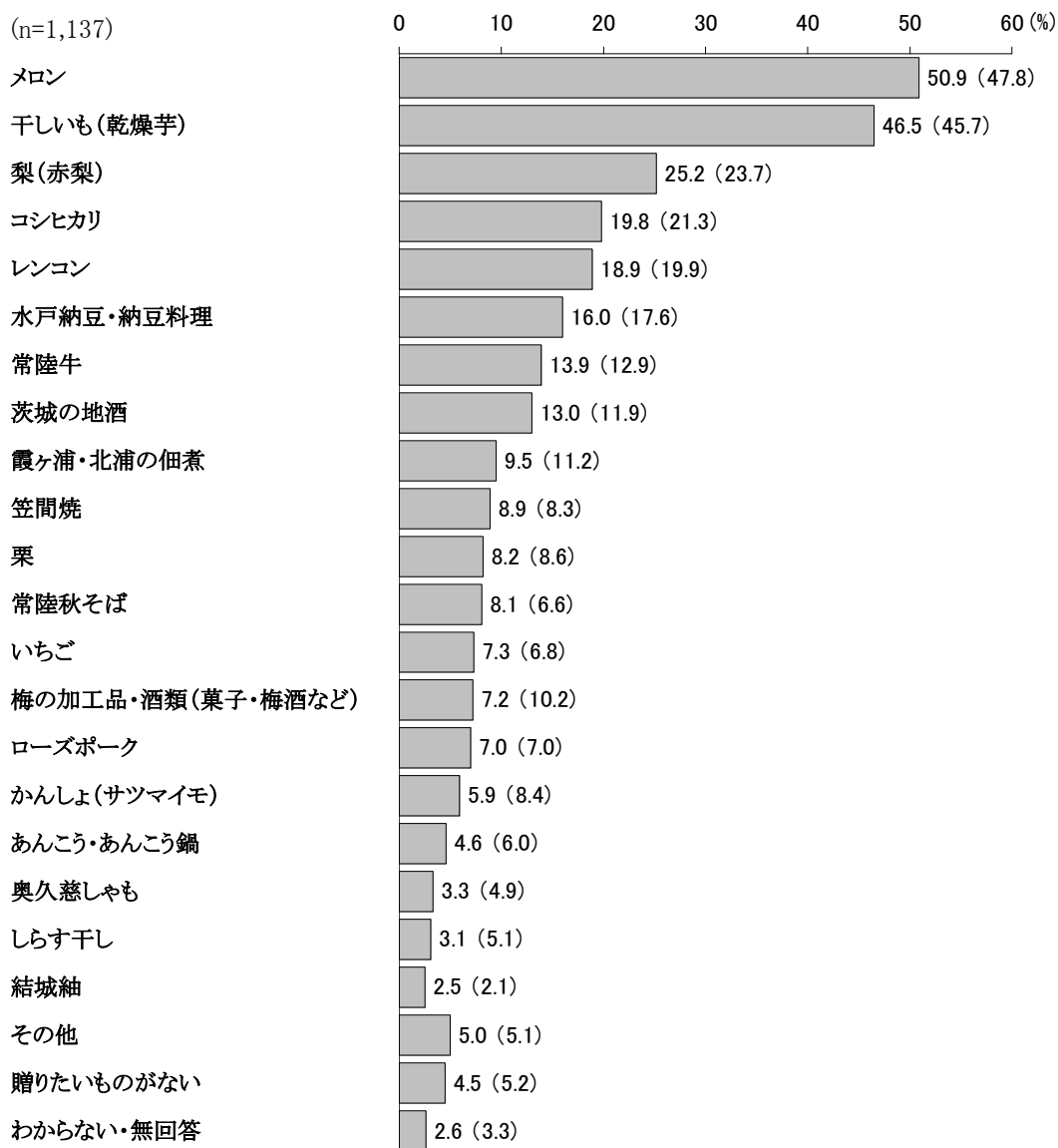


(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

5. 贈答品で送りたい県産品

—「メロン」が約5割,「干しいも(乾燥芋)」が4割台半ば—

問7 あなたは、お中元・お歳暮などの贈答品に県産品を使う場合、何を贈りたいですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成23年の調査結果

お中元・お歳暮などの贈答品に使う県産品としては、「メロン」(50.9%)が約5割と最も高く、「干しいも(乾燥芋)」(46.5%)が4割台半ばとなっている。次いで「梨(赤梨)」(25.2%)が2割台半ば、「コシヒカリ」(19.8%)と「レンコン」(18.9%)が約2割で続いている。

前回調査と比べると、「メロン」が約3ポイント増加している。一方、「梅の加工品・酒類(菓子・梅酒など)」が3ポイント減少している。

—「メロン」が鹿行で約8割—

地域別でみると、「メロン」は、鹿行（77.9%）で約8割と最も高く、県央（63.6%）で6割台半ばとなっている。「干しいも（乾燥芋）」は、県北（71.8%）で7割を超えて最も高く、県央（64.1%）で6割台半ばとなっている。また、「梨（赤梨）」は、県南（31.0%）と県西（33.0%）で3割台、「コシヒカリ」は県西（29.6%）で約3割と高くなっている。「レンコン」は県南（42.7%）で4割を超え、「水戸納豆・納豆料理」は県央（30.8%）で約3割と最も高くなっている。

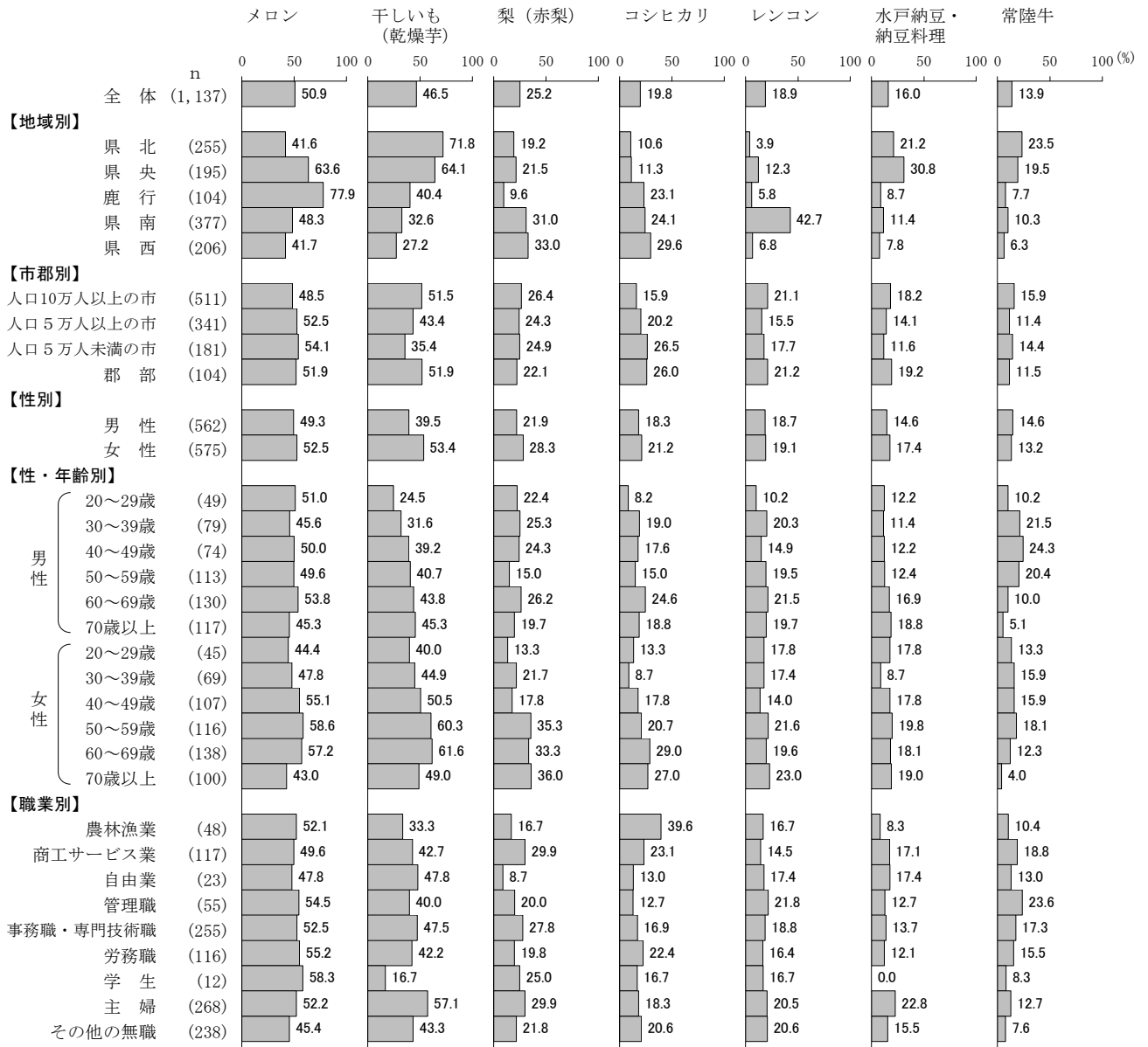
市郡別でみると、「メロン」は、人口10万人以上の市（48.5%）以外のすべての層で5割台となっている。「干しいも（乾燥芋）」は、人口10万人以上の市（51.5%）と郡部（51.9%）で5割を超えて高くなっている。また、「梨（赤梨）」は郡部（22.1%）以外のすべての層で2割台半ばとなっており、「コシヒカリ」は人口5万人未満の市（26.5%）と郡部（26.0%）で2割台半ばとなっている。

性別でみると、「干しいも（乾燥芋）」は、女性（53.4%）が男性（39.5%）よりも約14ポイント高くなっている。「梨（赤梨）」は、女性（28.3%）が男性（21.9%）よりも約6ポイント高くなっている。また、「メロン」、「コシヒカリ」、「水戸納豆・納豆料理」は、いずれも女性が男性よりも約3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「メロン」は、女性の50代（58.6%）と60代（57.2%）で約6割と高く、男性の60代（53.8%）、女性の40代（55.1%）で5割台半ばとなっている。「干しいも（乾燥芋）」でも、女性の50代（60.3%）と60代（61.6%）は6割台と高くなっている。また、「梨（赤梨）」は、女性の50代（35.3%）、60代（33.3%）、70歳以上（36.0%）で3割台半ばと高くなっている。

職業別でみると、「メロン」は、商工サービス業（49.6%）とその他の無職（45.4%）以外のすべての職業で5割台となっている。「干しいも（乾燥芋）」は、主婦（57.1%）で約6割と最も高く、事務職・専門技術職（47.5%）で約5割となっている。また、「コシヒカリ」は、農林漁業（39.6%）で約4割と最も高くなっている。

図Ⅱ 7-1 贈答品で贈りたい県産品
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。